

希少・難治性疾患や がんの克服に挑む

～新しい治療法の開発に向けて～

2017/ **11/1** 水

13:30～17:20 (受付・開場 13:00～)

京都大学国際科学イノベーション棟
5階 シンポジウムホール

(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内)



定員200名
(先着順)
参加無料

申込みは **WEB** または **FAX** で

詳細は裏面をご覧ください。 **申込締切 10月30日[月]**

↓URL

[http://www.astem.or.jp/lifeinov/
2017symposium/3547.html](http://www.astem.or.jp/lifeinov/2017symposium/3547.html)

↓FAX

075-950-0881 裏面申込書にご記入のうえ、送信してください。

↓お問合せ

公益財団法人京都高度技術研究所 産学公連携事業本部
京都市ライフイノベーション創出支援センター

TEL: 075-950-0880 FAX: 075-950-0881

E-mail: ikouyaku@astem.or.jp

URL: <http://www.astem.or.jp/lifeinov/>



京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所では、市内のライフサイエンス関連産業の振興を図るため、「京都市ライフイノベーション創出支援センター」を拠点として、産学公連携による医療分野の研究開発や事業化の促進、健康・福祉・介護分野における新たな製品・サービスの創出、販路の開拓等を支援しています。

また、当センターの事業活動の一環として、ライフサイエンス分野の最先端の取組に触れていただくために、この分野で活躍されているアカデミアや企業の方々を講師にお迎えして、毎年シンポジウムを開催してきました。

この度は、今年度第1回目のシンポジウムとして、筋萎縮性側索硬化症(ALS)などの神経変性を伴う希少・難治性疾患や治療困難ながんなどへの新しい治療法の開発に向けて、疾患モデル生物、遺伝子治療、創薬などの視点から最先端の研究開発に取り組んでおられる方々をお招きして、それらの事例をご紹介します。

座長

(公財)京都高度技術研究所

京都市ライフイノベーション創出支援センター長 谷田 清一

プログラム

13:30 開会

13:40 講演①「ヒト希少神経難病にショウジョウバエモデルで挑む」
京都工芸繊維大学工学科学研究科応用生物学系 教授
昆虫先端研究推進センター長 山口 政光 氏

14:30 講演②「iPS細胞と昆虫モデルを用いた
神経変性疾患研究の利点と今後の展開」
京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学 教授
京都府立医科大学医療センター 所長 水野 敏樹 氏

15:20 <休憩15分>

15:35 講演③「アカデミアにおける創薬研究
—がん分子標的治療薬開発—」
京都薬科大学生命薬科学系病態生理学分野 教授 芦原 英司 氏

16:25 講演④「遺伝子治療分野におけるタカラバイオの取り組み」
タカラバイオ株式会社 代表取締役社長 仲尾 功一 氏

17:15 閉会

主催 京都市／公益財団法人京都高度技術研究所

後援 京都大学大学院医学研究科／京都大学大学院薬学研究科／京都工芸繊維大学
京都府立医科大学／京都薬科大学／経済産業省近畿経済産業局／京都府／京都商工会議所
公益社団法人京都工業会／NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議
京都産学公連携機構／京都産業育成コンソーシアム(順序不同、予定を含む)

希少・難治性疾患やがんの克服に挑む ～新しい治療法の開発に向けて～

講演①

ヒト希少神経難病にショウジョウバエモデルで挑む

京都工芸繊維大学工芸科学研究科応用生物学系 教授
昆虫先端研究推進センター長 山口 政光 氏

ヒト疾患原因遺伝子の75%がショウジョウバエにも存在していることが明らかになり、遺伝学・発生学研究のモデル生物として長年使用されてきたショウジョウバエは、近年ヒト疾患研究のモデルとしても注目されている。演者らはALSやシャルコー・マリー・トゥース病等のモデルショウジョウバエを開発し、それらを用いた遺伝的スクリーニングにより新規診断・創薬標的を探索しつつある。ヒト希少難病克服へのショウジョウバエの無限の可能性を紹介する。

講演③

アカデミアにおける創薬研究 ーがん分子標的治療薬開発ー

京都薬科大学生命薬科学系病態生理学分野 教授 芦原 英司 氏

欧米では多くのベンチャー企業が創薬シーズ探索の産業基盤を担っているが、我が国ではベンチャー企業の活用とともにアカデミアが蓄積してきた創薬シーズの活用が強く求められている。この様な背景のもと、京都薬科大学では大学発ベンチャーの創設をめざし、各分野が所有する創薬基盤および評価系を結集した新規分子標的治療薬の開発研究を進めている。本講演ではその中のがん分子標的治療薬開発を紹介する。

講演②

iPS細胞と昆虫モデルを用いた 神経変性疾患研究の利点と今後の展開

京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学 教授
京都府立医科大学医療センター所長 水野 敏樹 氏

神経変性疾患には5～10%程度遺伝性があり、単一の疾患と考えられてきた筋萎縮性側索硬化症や遺伝性末梢神経疾患では20種類以上の原因遺伝子が同定されている。これらは神経細胞を支えるのに必須なRNA転写・蛋白合成・軸索輸送・ミトコンドリア機能・蛋白分解に関連した遺伝子であり、これら遺伝子変異を導入した培養細胞・昆虫モデルを用いる利点と今後の展開について報告する。

講演④

遺伝子治療分野におけるタカラバイオの取り組み

タカラバイオ株式会社 代表取締役社長 仲尾 功一 氏

2014年に「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が施行され、日本においては、遺伝子治療(再生医療等製品)を社会実装しやすい環境が整いつつある。遺伝子治療の早期商業化を目指す同社の取り組みを紹介する。

申込方法

申込締切 平成29年10月30日(月)

WEB申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供に同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申し込みください。

申込先 ▶ (公財)京都市高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター

URL: <http://www.astem.or.jp/lifeinov/2017symposium/3547.html>

FAX: 075-950-0881

※定員になり次第締切らせていただきます。

※申込みいただいた方にご連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。また、参加証の発行はいたしません。

定員の都合上ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。

当センターでは、公的支援プログラム・各種セミナーをはじめ 医・工・薬・ヘルスケアに関する様々な情報をメールマガジンで配信しています。ご登録はこちらから。

<http://www.astem.or.jp/lifeinov/bmp-net>



フリガナ		TEL/FAX	
お名前		E-mailアドレス	
ご所属 (企業、大学、機関等)			
部署・役職			

事務局における個人情報の取扱いについて

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

下記「個人情報の取扱いについて」を確認し、同意のうえ申込みます。

同意する (チェック をお願い致します。)

1. 個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました個人情報は、当財団で管理させていただき、本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催、共催または後援する催事のご案内に利用させていただきます。

2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属等を京都市に提供することがありますが、それ以外では、法令に基づく場合を除き第三者に貴殿の個人情報を提供することはありません。

3. 個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

4. 通知、開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

ご提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続きにより、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

5. 個人情報を記入するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 公益財団法人京都市高度技術研究所
<個人情報保護管理者> 総務部長
<窓口> 総務部
所在:京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614
URL:<http://www.astem.or.jp>
※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く) 9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、
<https://www.astem.or.jp/privacypolicy>
でご確認ください。

大学の知恵 @京都

京都工芸繊維大学

大学の知恵 @京都

京都府立医科大学

大学の知恵 @京都

京都薬科大学

